


新		旧	
(P186)		(P186)	
事業名	2-4 水戸駅前三の丸地区市街地再開発事業	事業名	2-4 水戸駅前三の丸地区市街地再開発事業
事業主体	水戸駅前三の丸地区市街地再開発組合	事業主体	水戸駅前三の丸地区市街地再開発組合
事業期間	2016(平成28)年度～2028(令和10)年度	事業期間	2016(平成28)年度～2020(令和2)年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業) (2016(平成28)年度～2028(令和10)年度)	支援事業名	社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業) (2016(平成28)年度～2020(令和2)年度)
事業位置	重点区域内 	事業位置	重点区域内 
事業概要	水戸駅から弘道館方面へのアクセスルートを確認し、歴史的な景観に配慮した整備を行うことで、水戸の玄関口にふさわしいまちなか交流拠点の形成を目指します。	事業概要	水戸駅から弘道館方面へのアクセスルートを確認し、歴史的な景観に配慮した整備を行うことで、水戸の玄関口にふさわしいまちなか交流拠点の形成を目指します。
事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由	水戸駅前は本市の玄関口で、江戸時代には近くに東照宮や弘道館があり、さらに水戸城が眼前に広がっていた場所です。 本市の第2期計画において「1-4 水戸城大手門・二の丸角櫓復元整備事業」を進めることとしておりますが、このうち二の丸角櫓が完成すると、水戸駅前より角櫓を見ることが可能となります。 本事業を行うことで、歴史的景観が向上し、二の丸角櫓の復元とあわせて、「文武の伝統が息づく弘道館・水戸城跡周辺の歴史的風致」の維持・向上に寄与することができます。また、弘道館方面へのアクセスルートを確認することから、弘道館や水戸城跡への観光客の利便性の向上にも寄与します。	事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由	水戸駅前は本市の玄関口で、江戸時代には近くに東照宮や弘道館があり、さらに水戸城が眼前に広がっていた場所です。 本市の第2期計画において「1-4 水戸城大手門・二の丸角櫓復元整備事業」を進めることとしておりますが、このうち二の丸角櫓が完成すると、水戸駅前より角櫓を見ることが可能となります。 本事業を行うことで、歴史的景観が向上し、二の丸角櫓の復元とあわせて、「文武の伝統が息づく弘道館・水戸城跡周辺の歴史的風致」の維持・向上に寄与することができます。また、弘道館方面へのアクセスルートを確認することから、弘道館や水戸城跡への観光客の利便性の向上にも寄与します。